



公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA)
 Tochigi International Association
 〒320-0033 宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内
 TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951
 E-mail tia@tia21.or.jp URL http://tia21.or.jp

TIAトピックス

やさしい日本語普及員募集
 わくわく☆多文化

インディアナ州を知ろう! (アメリカ留学体験記)

JICA 情報局

JICA 教師海外研修・実践授業報告会



TIAは「やさしい日本語」の普及を促進しています。



▲日本人住民、外国人住民が話し合うグループワークで、講師の柴垣氏(中央)のアドバイスを受ける参加者

「災害時の外国人支援って何? ボランティア入門講座」

災害が起こったときの外国人支援について学ぶ研修会を、栃木市および栃木市国際交流協会との共催で、12月15日(土)に栃木公民館で開催しました。NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事の柴垣 禎氏を講師に迎え、これまでの大災害における外国人支援の取り組み事例や私たちができる支援について学びました。

地域で取り組める支援については、対人援助のためのポイントのほか、外国人の中には地震のない国から来た人もいなど災害の知識が異なる場合もあり、外国人の立場に立った支援を考える必要がある。また、日本語が十分でない外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語」の活用、さらには言葉にばかりでなく、相手の背景を配慮したコミュニケーションの態度も重要だというお話でした。

後半は、各グループの外国人参加者が、母国での災害や日本での被災経験、災害時に困ることなどを話しました。グループワークでは、外国人も含めて、近所に配慮が必要な人(高齢者、アレルギーがある人等)を想定し、避難所生活で困難なことや具体的な対応案について検討しました。お互いを尊重することや話し合うこと、普段からのつながりが大切だとの感想がありました。

30th Anniversary



TIAはおかげさまで30周年

**相談員・通訳協力者実務研修会****& Tタイムミーティング**

11月30日(金) とちぎ国際交流センター

各市町等で外国人の相談に携わっている相談員や通訳者などを対象とした実務研修会を開催し、32名が参加しました。

今回の研修会は、「外国人就労の実態と法制度」と題して、社会保険労務士・行政書士の深見 史氏を講師にお招きし、日本で働く外国の就労問題及び働くために必要な最低限の法律知識について学びました。

参加者から通訳業務に役立つ内容だった、もっと回数があるといい、基本的なことから最新情報までとても勉強に

なったと感想もあり、大変有意義な研修会となりました。

Tタイムミーティングでは参加者同士の活動報告や自由な意見交換をお茶を飲みながら気軽な雰囲気で行いました。通訳や相談業務では守秘義務があるためストレスを抱え込んでしまいがちなため、自由に悩みを話せる場を設けてもらうのは助かるという感想がありました。

**▲深見氏が講師を務めた実務研修会****中学生が TIA で社会体験学習**

宇都宮東高等学校附属中学校 11月13日(火)～16日(金)

山内心里さん、鈴木千優さん

宇都宮市立陽東中学校 12月18日(火)～21日(金) 大橋 愛さん

働くことの意義や尊さを学ぶことを目的とした社会体験学習の一環として、上記3人(いずれも2年生)を受け入れました。4日間のプログラムの中で3人は、TIA職員から仕事の内容を聞いたり、企画展の準備、調理室・図書室の整理、イベントのチラシ発送などを手伝いました。「この体験を生かして人のために行動する生活を送りたい」などの感想がありました。

**▲マーシャル企画展の準備を手伝ってくれた山内さん(右)と鈴木さん****▲イベントのチラシ送付を手伝う大橋さん(左から2番目)****JETRO 欧州地域バイヤー招へい事業 県内視察**

平成31年1月25日(金)

県とJETRO栃木が実施した「海外バイヤーとの食品輸出商談会」に参加した4名のバイヤー(ハンガリー、フランス、ベルギー、ルーマニア)が県内視察を行い、TIAがその受入れ業務を行いました。

**▲県内のいちご園を視察**

一行は、本県産の日本酒や日光の郷土料理を堪能したり、鹿沼のいちご園を訪問し「とちおとめ」を試食するなど、「とちぎの美味しいもの」について知識を深めました。

TIA ランチャイムコンサート お昼の時間(12:15～13:00)に、とちぎ国際交流センター1階のラウンジ等で音楽を楽しみました♪

◇8月23日(木) **TIA カルテット演奏**
(フルート、ヴァイオリン、チェロ、ヴィオラ)
「バッハのアリア」ほか

◇9月13日(木) **琴演奏～邦楽の調べ～**
「元禄花見踊り」ほか

◇11月8日(木) **和の響～和楽器コラボ～**
「春の海」ほか

◇12月13日(木) **「北欧のメロディーに
乗せて～God jul (メリークリスマス)～」**
「Guri」ほか

◇1月24日(木) **「新春クラシック 2019
～クラリネット&ピアノ～」**
5つのバガテルより第1楽章ほか

◇2月14日(木) **「Jazzで語るLove Story
～ヴァレンタインスペシャルコンサート～」**
「Almost Like Being Love」ほか

◇3月14日(木) **「マロニエウインドオー
ケストラ～管楽器アンサンブル～」**
「ニューシネマパラダイス」ほか

**▲2月14日のバレンタインデーに行われたジャズコンサート**

**国際理解セミナー「だれかに話したくなる太平洋の国々！ ～マーシャル、ソロモン、パプアニューギニアのひみつ～」**

1月26日（土）とちぎ国際交流センター



太平洋にある国々をテーマに、JICA 筑波と共催で国際理解セミナーを実施し、29名が参加しました。

講師は元青年海外協力隊員の3人で、渡邊篤史氏（ソロ

▲ **わかりやすく各国の事情を語る** モン諸島・理数科教師隊員）、半田颯太朗氏（パプアニューギニア・小学校教育隊員）、TIA 国際理解等推進員の加持智子（マーシャル諸島・小学校教育隊員）でした。

前半はそれぞれの国の基礎情報や協力隊での活動紹介、

後半は、歴史・文化・生活についてパネルトークを行いました。第2次世界大戦などで日本と関わりがあるのに知られていない国々の魅力を知っていただくことができました。

マーシャル企画展

1月12日（土）～1月31日（木）とちぎ国際交流センター

国際理解セミナーに合わせて、マーシャル企画展を行いました。マーシャルの自然、人々の生活の様子の写真や手工芸品のアミモノや現地の洋服を展示しました。



▲ 鮮やかな色のマーシャルの洋服

TIA 外国語講座 とちぎ国際交流センター**はじめての英会話**

1月17日（木）～3月28日（木）

アメリカ、イギリス、フィリピン、ケニア出身の多彩な講師陣による世界の英語を楽しみました。



▲ イギリス出身のマーク氏(左)とフィリピン出身のジュン氏(右)

はじめてのベトナム語

1月12日（土）～3月30日（土）

ホーチミン出身の講師により簡単な日常会話から観光場面のベトナム語を学びました。



▲ 明るく熱心に教える講師の永池リユー氏

日本語ボランティア情報交換会

2月8日（金）とちぎ国際交流センター

外国人に日本語を教えるボランティアを対象とした情報交換会を開催し、40名が参加しました。講師に（一社）アクラス日本語教育研究所代表理事の嶋田和子氏を迎え、ボランティアとしての課題や会話力アップの手法を学びました。

前半は「日本語教育の推進に関する法律案」の概要紹介やボランティアの姿勢についての講義。後半は、課題や解決方法についてグループで話し合い、講師の的確なアドバイスが参考になりました。また、絵カードを使った表現の導入方法の実演を見ながら、ペアで練習しました。



▲ 絵カードの具体的な活用を解説する講師の嶋田氏

「やさしい日本語普及員」募集！

TIA では、日本語があまり得意でない外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語」を多くの方に知っていただくため、普及員を募集しています。

普及員とは、日頃の活動の中で、周囲に「やさしい日本語」とはどういうものかを伝えていただく人のことです。

普及員になるためには、①高校生以上、②「やさしい日本語」の趣旨をよく理解している、③「やさしい日本語」を普及する意思がある、という条件を満たしている方ならどんなでもOKです。

普及員になっていただくと「やさしい日本語普及員バンク」に登録され、TIA から登録証が発行されます。普及に関する活動はご自身のペースで構いません。

ご関心がある方はぜひお問合せください！

**「やさしい日本語」の研修に協力しました！**

下記の研修会において、TIA 職員の田島亮子が講師を務め、やさしい日本語についてご紹介しました。

・「やさしい日本語実践セミナー」

2月19日（火）栃木県庁 〔対象〕県、市町職員

〔主な内容〕外国人とのコミュニケーション、窓口での話し方、伝わりやすい文の書き方

・「やさしい日本語研修」

2月27日（水）とちぎ国際交流センター

〔対象〕（公財）とちぎ未来づくり財団職員

〔主な内容〕外国人のお客様へのわかりやすい案内、伝わりやすい文の書き方



▲ とちぎ未来づくり財団の研修



TIAで昨年8月～10月にインターンシップをした末村友季奈です（白鷗大学経営学部4年）。皆さん、アメリカのインディアナ州が栃木県の姉妹県州であることを知っていますか？私は同州にあるライン大学に約1年間交換留学をし、昨年5月に帰国しました。今回は、留学体験を通して感じたインディアナの魅力をご紹介します！

■アメリカ版とちぎ

州都インディアナポリスは、都会すぎない住みやすい街で宇都宮のように便利な地方都市です。郊外に行けば自然豊かな農村地域が広がっています。車での移動が中心になっているところも栃木県に似ています。また、夏は蒸し暑く、冬は寒さが厳しいといった気候も栃木を感じさせます。製造業と農業が盛んであるところが、栃木県と類似しており、姉妹提携が結ばれた理由の一つでもあります。

■Live ON Campus（大学内に住む）！？

ライン大学は、郊外のアンゴラにあるスポーツと工学

が盛んな地方大学です。そのため多くの学生が寮生活を送っています。寮は大学の敷地内にあり、食事は学内のカフェテリアでとることが多いため、ほとんど大学内で生活することができます。つまり大学のキャンパスの中に住んでいるかのような感覚…



▲大学の留学生たちとBBQ

日本の大学では珍しいのではないのでしょうか？

■アメリカの家族（My host family）

ホストファミリーの存在が留学生活を支えてくれました。冬休みなどの長期休暇はホストファミリーと過ごしました。インディアナの人々はとてもあたたかいです。大学



▲ホストファミリーと一緒に

でうまくいかずに悩んでいた時、週末だけでもおいでとってくれたり、買い物や食事に連れて行ってくれました。本当の家族のように受け入れてくれたことは一生忘れられない大切な思い出です。



▲州都インディアナポリス

JICA 筑波

教師海外研修・実践授業報告会 ～とちぎ国際交流センターにて～

JICA
情報局

1月19日(土)、茨城県、栃木県の先生による上記報告会をTIAと共催で開催し、30名が参加しました。

今年度は行政コース(タイ)に栃木県総合教育センター・水井ゆかり氏、教員コース(タンザニア)に足利市立毛野小学校・尾花美紀氏、宇都宮市立岡本北小学校・竹元志穂氏、栃木県立矢板東高等学校・平山尚子氏の計4名が参加しました。

報告会では、茨城県立竹園高等学校・奈良由紀子氏も加わり、それぞれの学校で、海外研修素材を活用したカリキュラム作りや授業実践内容が報告されました。学校現場以外で国際理解教育を実践している方や、先生の発表を聞いてみたい方の参加もありました。先生方の実践は大変興味深く、「実践授業を受けてみたい！」等の意見も出ました。



▲県総合教育センター 水井氏の発表

JICA 栃木デスクからのお知らせ

・JICA 教師海外研修

募集期間：3月20日(水)～5月20日(月)

*募集に関する相談は、随時受け付けております。

・JICA 筑波施設訪問（学校、市民団体等）も受付中 ご質問、お問い合わせはお気軽に！

【JICA 栃木デスク】 Tel.028-621-0777

【TIA 共催事業】入管法改正を機によりよい 多文化共生社会を考えるシンポジウム

2月14日(木)に宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター主催のシンポジウムが開催されました。入管法改正についての基調講演と企業や国際交流協会などの取り組みの発表や意見交換が行われ、TIAの小林事務局長が登壇しました。



▲発表する小林局長(左から2番目)



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会

住所 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内

TEL 028-621-0777(代表) 028-627-3399(相談専用)

業務時間 8:30～17:15 休館日 日曜・月曜・祝祭日・年末年始